



わだち

公益社団法人
福島県トラック協会 広報誌

2019年

10

vol.465



04 県ト協 「トラックの日」フェスタ2019を開催

02 トピックス

- * 福島県トラック協会が協賛し夜光反射材等の普及活動を実施

08 東北六県

- * 山形県で東北トラック協会連合会事業者大会が開催

09 福島県

- * 2019年秋の全国交通安全運動街頭キャンペーンを実施

03 県ト協

- * 2019年度各種助成事業執行状況
- * (新) 帳票価格表

08 支部

- * 相双支部が台風15号被災地へ緊急物資を輸送
- * 会津支部が「道路に感謝! クリーン作戦2019」を実施

13 適正化

- * 2019年度物流セミナーを開催

10 青年部会

- * 青年部会県南支部が視察研修を実施
- * (公社) 全日本トラック協会青年部会東北ブロック大会が開催

08 女性部会

- * (公社) 全日本トラック協会女性部会全国研修会が開催

09 高速安協

- * 秋の全国交通安全運動における交通安全キャンペーンへの参加

10 陸災防

- * 安全衛生レベルアップ支援事業研修会を開催
- * 「交通労働災害防止担当管理者教育講習」の開催について
- * 「トラック荷台等での荷崩れ等による災害防止講習会」のご案内

トピックス 福島県トラック協会が協賛し夜光反射材等の普及活動を実施

例年、日没が早まる秋から年末にかけて、高齢歩行者被害の死亡事故が多発する状況への高齢者交通事故防止対策として、福島県トラック協会、福島県薬剤師会、福島県警の三者による、「夜間反射材及び啓発チラシ」の普及活動を秋の全国交通安全運動と連動した9月21日(土)より実施するにあたり、9月12日(木)福島県警察本部において、当協会 右近 八郎 会長が出席し、記者会見及び贈呈式が開かれた。記者会見の場で右近会長は「トラック輸送事業は重要な社会機能を支える業界として、トラック協会が公益法人の認定を受けており、公益事業の一環として薬剤師会と連携のうえ、夜間反射材等配布の普及活動に協力させてもらうことにより、公益法人としての責任を果たしていきたい」と述べた。



【反射材をPRする右近会長 (左から2番目)】

今回の「夜間反射材及び啓発チラシ」はトラック協会が各16万枚ずつ作成し、福島県薬剤師会協力のもと福島県内約800店舗の薬局に設置、薬局を訪れた高齢者に対し啓発チラシを使いその場で靴への夜間反射材の貼付呼びかけの取り組みが実施される。この活動により「高齢者の安全意識高揚及び歩行者被害の死亡事故ゼロ」を目指していく。

CONTENTS

トピックス	福島県トラック協会が協賛し夜光反射材等の普及活動を実施	2
東北六県	山形県で東北トラック協会連合会事業者大会が開催	8
福島県	2019年秋の全国交通安全運動街頭キャンペーンを実施	9
県ト協	2019年度各種助成事業執行状況	3
	「トラックの日」フェスタ2019を開催	4
	会員だより	6
	(新)帳票価格表	6
	10月の行事予定	14
適正化	2019年度物流セミナーを開催	13
支部	相双支部が台風15号被災地へ緊急物資を輸送	8
	会津支部が「道路に感謝！ クリーン作戦2019」を実施	9
青年部会	青年部会県南支部が視察研修を実施	10
	(公社)全日本トラック協会 青年部会 東北ブロック大会が開催	10
女性部会	(公社)全日本トラック協会 女性部会 全国研修会が開催	8
高速安協	秋の全国交通安全運動における交通安全キャンペーンへの参加	9
協同組合	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報	14
陸災防	技能講習等実施予定	6
	安全衛生レベルアップ支援事業研修会を開催	10
	「交通労働災害防止担当管理者教育講習」の開催について	11
	「トラック荷台等での荷崩れ等による災害防止講習会」のご案内	12
お知らせ	交通事故統計	14

県ト協 2019年度各種助成事業執行状況

2019年度の各種助成事業の2019年10月21日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。
 また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

2019年10月21日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	52
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員 50人まで	31
	3 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	9
	4 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員 15名まで	33
	5 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1会員 10名まで	21
	6 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員 15台上限	30
	7 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 簡易型 10,000円 ※()書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員 15台上限	40
	8 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	37,000円/台	1会員 15台上限	30
	9 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		37
	10 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	取得価格の1/2 100,000円/台上限	1会員 3台上限	7
	11 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許(二種は除く) 75,000円/人上限 大型免許(二種は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限 準中型限定解除 20,000円/人上限	1会員 50万円上限	50
	12 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	車両台数上限	23
	13 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	1事業者 150人上限	50
	14 血圧計	血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限70,000円)	1事業所 2台	23
	15 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、更衣室、トイレ等の増改築の費用の一部に対する助成	工事費の1/2(上限300,000)	1事業者 1施設	29
交通公害対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー、UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基	18
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	29
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	33
研修調査事業費	19 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		0
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者 1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	49
	21 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	22 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	57
	23 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	32
	24 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	53
	25 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		74
	事業正費化	26 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,000円/人・年 基礎講習 4,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)

注1 「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。
 注2 本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。
 注3 「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

県ト協

「トラックの日」フェスタ2019を開催

トラック運送業界の重要性について業界内外の多くの方に認知してもらうために、10月9日を「トラックの日」と制定し、全国のトラック協会では様々なイベントを実施しているなか、福島県トラック協会「トラックの日」事業である「トラックの日」フェスタ2019は、9月7日(土)に郡山市「ビッグパレットふくしま多目的展示ホールC及び屋外展示場」において開催された。

本フェスタは福島県トラック協会の主催事業で、昨年に引き続き青年部会並びに女性部会のメンバーで構成された「トラックの日」フェスタ実行委員会が企画立案から運営までの全てを担当し、昨年のフェスタをベースにブラッシュアップを図りながら開催に至った。

今年はテレビCMの制作・放映する等、昨年よりさらに広報活動の幅を広げた結果、当日は多数の家族連れが来場し、総合受付前には開場前より長蛇の列ができあがり来場者の期待値の高さが伺えた。



【右近会長】



【小野田フェスタ実行委員長】

開会式では、右近 八郎 会長が主催者あいさつを行い、「トラック輸送産業は全国の取扱貨物量(トンベース)の9割を占めており、社会的にも重要な役割を担っていることを再認識してもらうため、本フェスタを通じて改めてトラック輸送産業への理解を深めていただきたい。」と述べた。

続いて小野田 弘明 フェスタ実行委員長が開催の宣言を行い、いよいよ「トラックの日」フェスタがスタート。

オープニングステージは川俣町を拠点に数々のイベントに出演している和太鼓団体「山木屋太鼓」の力強い演奏を皮切りに、地元郡山市のプロバスケットチーム「福島ファイヤーボンズ "Ray Glitters(レイグリッターズ)"」のチアリーディングショー、風船の国のアリスちゃんのバルーンアート、さらには福島県ゆかりのミュージシャン「MANAMI」、「菅野 恵」、「ave」のミュージックライブがステージで繰り広げられ、来場者を大いに楽しませた。

また、フェスタのメインとなるトラック運送業界PRを効果的に行うため、18の関係団体・機関・企業より協力をいただきPRの深度化を図ることも成功。特に、トラックディーラー4社による最新鋭のデモトラック展示とコックピット(運転席への乗車)体験や、最新の安全装置(誤発進抑制装置・低速軽減被害軽減装置)を搭載したトラックの体験型ブースの設置、CO₂ゼロの環境に優しい電気トラックの展示、-25℃を体験できる冷凍車の展示。また、トラック運送業界の様々な活動(取組)を知っていただくための運送業界PRブース(トラック運送業界のパネル展示)も設置し、来場者にトラック運送業界について楽しく理解を深めてもらいながら、公共道路利用への“感謝”の気持ちを伝えた。

その他、会員事業者より冷凍車の展示(マイナス25度を体験)、Gマークラッピングトラックの展示、交通安全、防災・国防ブースとして、警察、消防、自衛隊、JAF、NASVA協力のもと、各種車両展示及び専門機器の設置、福島県民への地域貢献ブースとして献血活動、ポップコーン、フランクフルト、射的、三春グルメランチ、天然酵母パン、ハンドマッサージ、さらには震災の復興活動ブースとして浪江やきそばの無料配布(体験)も実施。

また、会場内全ブースに募金箱を設置し、交通遺児への募金活動を展開し、多くの方から善意を全額福島県交通遺児基金へ寄付する予定となっている。

今回の「トラックの日フェスタ2019」最終来場者数は昨年の3,000人を上回る約3,500人の来場者数を記録し、当県の「トラックの日」フェスタの認知度が着実に上がっていることを裏付ける結果となった。

なお、来年の「トラックの日」フェスタ事業も、更に内容を充実させ、同会場で開催する予定で検討を行っている。





2019 9/7 『トラックの日』フェスタ2019

「ビッグパレットふくしま」

トラック運送業界PR

- トラック輸送業界PRブース
- トラック展示・体験
- トラック輸送業界の人材確保に向けた就職相談ブース(ハローワーク郡山)



交通安全活動

- 白バイ・バイク展示(郡山警察署、福島県警交通機動隊)
- シートベルト衝撃体験(JAF)



防災・国防活動

- 消防車・ハンゴ車の展示(郡山消防署)
- 陸上自衛隊車両の展示(陸上自衛隊郡山駐屯地)



震災復興活動

- なみえ焼きそばの提供



福島県民への地域貢献活動

- 献血活動
- 模擬店
- ステージ企画
- 着ぐるみ(ふくトラくん)



環境問題対策活動

- 電気トラックの展示



主催:公益社団法人福島県トラック協会

後援:福島運輸支局、福島県、福島県警察本部、福島労働局、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島
協賛:いすゞ自動車東北(株)、福島日野自動車(株)、UDトラックス(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)、福島県赤十字血液センター、(独)自動車事故対策機構 福島支所、郡山消防署

会員だより

退会会員事業所

支部	店・社名
県南	(有)酒井屋

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
2	(有)サエキ輸送	事業所名	(株)サエキ輸送	(有)サエキ輸送
		住 所	960-0501 伊達市伏黒字八反田36-1	960-0408 伊達市岡沼94-2
4	(有)伊達配送	住 所	960-0501 伊達市伏黒字八反田36-1	960-0408 伊達市岡沼94-2
14	郡山幸運(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	榊枝正男	鈴木勝春
45	(株)丸康総業	代表者 (支店・営業所代表者)	菅野征人	佐藤康徳
		郵便番号 住 所	975-0075 南相馬市原町区石神字中川原98番地1	960-1721 相馬郡飯館村飯樋字前田31
51	幸栄運輸(株)いわき営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	西田昌弘	日渡明博
52	大建運輸(有)	郵便番号 住 所	971-8125 いわき市小名浜島字館下60-2	979-0149 いわき市勿来町関田北町54-3

(新)帳票価格表

種 類	枚 数	新 価 格	旧 価 格
日常点検表	1冊 (100枚)	150円	150円
点呼記録	1冊 (100枚)	600円	600円
点呼記録(中間点呼)	1冊 (100枚)	330円	300円
運行指示書	1冊 (50セット)	390円	350円
運転日報・運行指示書兼用	1冊 (50セット)	300円	300円
運転者台帳 B5	1冊 (50枚)	500円	500円
	1枚	10円	10円
日報基本タイプ	1冊	170円	170円
日報応用タイプ	1冊	320円	320円

※点呼記録(中間点呼)・運行指示書 10月1日より価格変更となります

陸 災 防 技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学 科	講 習 開 催 日		
		実 技		
福 島⑧	29(金)	1: 19(火) ~ 15(金)	2: 26(火) ~ 28(木)	
郡 山⑧	11月 26(火)	1: 6(水) ~ 8(金)	2: 12(火) ~ 14(木)	3: 19(火) ~ 21(木)
いわき⑧	22(金)	1: 6(水) ~ 8(金)	2: 12(火) ~ 14(木)	3: 19(火) ~ 21(木)

【はい作業主任者技能講習】

開催地	講 習 開 催 日
郡 山	11月 14(木) 15(金)

【交通労働災害防止担当管理者講習】

開催地	講 習 開 催 日
福 島	11月 12(火)

(福島県民の皆様へ)

2019年度版

10月は“不正軽油撲滅”強化月間！



「不正軽油」とは？

軽油に課税される軽油引取税を脱税するために、灯油や重油を混ぜるなどして製造した燃料のことで、環境汚染や不法投棄の問題の他に、石油製品販売業・運輸業・建設業等の公正な市場競争も阻害しています。

不正軽油問題へ厳正に対処するため、不正軽油に関わるすべての人が罰則の対象となります。

不正軽油ホットライン

ぼく、キビタン！！ 不正軽油は絶対に許さないよ！！

- 不審なタンクローリー車が出入りする場所がある。
- 自動車の燃料に「重油」や「灯油」を（混ぜて）使っている。
- 不審なドラム缶が放置しており、石油のにおいや、刺激臭がする。
- 突然「とても安い軽油を購入しないか？」という営業（電話）が来た。

【電話】 024-521-7205 (直通)

【メール】 zeimu@pref.fukushima.lg.jp

【FAX】 024-521-7905

★↓情報提供は最寄りの各県税部でも受け付けています↓★

(電話) 県北 県税部	024-521-2699
県中 県税部	024-935-1264
県南 県税部	0248-23-1519
会津 県税部	0242-29-5264
南会津 県税部	0241-62-5214
相双 県税部	0244-26-1127
いわき 県税部	0246-24-6037



福島県不正軽油対策会議

福島県石油商業組合 公益社団法人福島県トラック協会
 公益社団法人福島県バス協会 一般社団法人福島県建設業協会
 福島海上保安部 福島県警察本部 福島県

東北六県 山形県で東北トラック協会連合会事業者大会が開催

2019年度東北トラック協会連合会事業者大会は9月10日(火)に山形県山形市「ホテルメトロポリタン山形」において開催され、本県からは理事を中心に総勢27名が参加した。

事業者大会では「ドラレコ映像でみる事故の傾向と対策」と題して、(株)ディ・クリエイト 代表取締役 上西 一美 氏の記念講演、その後事故防止に関する宣言、大会最後には10項目の大会決議案を読み上げ、満場一致で採択され大会は終了した。



【参加者全員によるシュプレヒコール】

支部 相双支部が台風15号被災地へ緊急物資を輸送

先月発生した台風15号は、関東地区を中心に甚大な人的・物的被害を及ぼした。

迅速な被災地救済のため、相双支部が新地町及び南相馬市からの要請を受け、南相馬市の「(株)ケー・アンド・ワイ (上田 由幸 社長)」協力のもと、9月11日(水)には千葉県八街市、13日(金)には千葉市に飲料水(2ℓ、500ml計6,534本)及びブルーシート(200枚)の緊急物資輸送を行った。福島県トラック協会では災害等が発生した場合、各自治体との「災害時における支援物資輸送に関する協定書」を締結しており、被災地への迅速な緊急物資輸送の体制を構築している。



【新地町、南相馬市からの緊急物資積み込み作業の様子】

女性部会 (公社)全日本トラック協会女性部会全国研修会が開催

全日本トラック協会女性部会(原 玲子 部会長)は、9月13日(金)に東京都港区「明治記念館」において、全国から約100名(福島県からは3名の参加)が参加し全国研修会を開催した。

全国研修会は全ト協女性部会設立後2回目となり、今年の研修会では、(株)日通総合研究所の大島 弘明 取締役より「トラック運送業界における現状について～物流現場の生産性向上・働き方改革への取り組み～」の基調講演があり、参加者は講演テーマである近々の諸課題への対策についてのノウハウを学んだ。



また、女性部会は既に組織されている、青年部会との連携強化を視野に様々な活動を展開していくことも確認し、今後の更なる組織の充実と活動展開が期待されている。

支 部

会津支部が「道路に感謝!クリーン作戦2019」を実施

会津支部（菅野 高志 支部長）は9月21日(土)に会津地区3ヵ所（会津若松市、喜多方市、南会津町）に分かれ、「道路に感謝!クリーン作戦2019」を実施した。

本事業は、10月9日の「トラックの日」事業の一環として、日々の公共道路利用に対する感謝の気持ちを清掃活動で表しながら、併せてトラック運送業界の社会的役割と重要性の認知度向上、交通安全・環境対策事業のPRを目的としており、同支部はこの活動を毎年実施している。

当日は会津支部会員の40事業所106名が参加し、会津管内の主要道路の清掃を一斉に行った。



高速安協

秋の全国交通安全運動における交通安全キャンペーンへの参加



9月21日(土)から30日(月)まで展開された、「秋の全国交通安全運動」の啓発活動として、9月24日(火)に東北自動車道「吾妻パーキングエリア上下線」において、高速隊ほか関係機関と共同での交通安全キャンペーンを実施した。県ト協から穂積常務理事をはじめとする、職員4名及び女性部会員1名が交通安全キャンペーン活動に参加した。

秋口は日没が早まることにより薄暮時の交通事故が増加傾向となることから、高速道路利用者（ドライバー）に対し「早めのライト点灯」の呼びかけ、「事故なし」にかけて福島市内で収穫された“梨”と啓発用品を配布しながら安全意識の高揚を促した。

【ドライバーに梨(事故なし)を配布】

福 島 県

2019年秋の全国交通安全運動街頭キャンペーンを実施

秋の全国交通安全運動が9月21日(土)からスタートし、30日(月)までの10日間で警察署や交通団体が交通事故防止に係る取り組みが県内各地で展開され、福島県及び福島県警察本部は同運動に係る街頭啓発キャンペーンを、25日(木)に福島市「福島駅東口駅前広場」において実施した。

キャンペーンでは鈴木 正晃 副知事他、県警本部長らがあいさつし、続いて福島東高校ブラスバンド部による演奏、歩行者への啓発品配布等の街頭啓発活動を行い、交通安全意識の高揚を図った。また、今回のキャンペーンは県警察本部が定めた「信号機のない横断歩道における歩行者優先等啓発日」に合わせ、「横断歩行者優先」と書かれたハンドプレート掲げ通行車両に対する注意喚起と及び歩行者の手首や靴等に夜間反射材を貼付する取り組みも併せて行った。



【ハンドプレートを使用しての車両への注意喚起】



【歩行者の靴に夜間反射材の貼付】

青年部会 青年部会県南支部が視察研修を実施

青年部会県南支部（吉田 雅弘 部会長）は、9月21日(土)に視察研修を実施した。当日は吉田部会長を含む総勢9名の部会員が宮城県仙台市太白区に立地する「ウジエロジスティクスセンター」を訪問。同センターは、宮城県内を中心に事業を展開する「ウジエスーパー（宮城県登米市本社）」のハブセンターとして昨年9月より稼働を開始。東北では数少ない都心型センターとして、精肉プロセスセンター、チルドエリア、ドライセンターを有した複合一体型センターとして効率的な運営を可能としており、センター内には共働き世帯の要望にも対応した保育所が完備される等、従業員が安心できる環境が整備されていることも大きな特徴となっている。また、同センターの設立・運営には「(株)東北丸和ロジスティクス」も参画しており、商品の搬出入・在庫管理及び各店舗への輸送業務を行いながら、“物流”の垣根を超えた事業の提案を行う企業パートナーとして、まさに荷主と運送会社との「共存共栄」を目指した先進的なモデルケースとなっている。



【ディスカッションの様子】

参加した部会員は同センターを見学した後、センターの業務担当者との活発なディスカッションを実施し、各人が今後における自社の経営戦略等へ繋げていきたいと述べた。

青年部会 (公社)全日本トラック協会 青年部会 東北ブロック大会が開催



【大会旗の伝達式】

東北トラック協会連合会青年部会（佐賀 晴樹 会長）は9月26日(木)に秋田県秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」にて、東北六県を中心に全国から約160名が参加（福島県からは14名参加）し、「誇りを形に！！～物流の未来へ～」を大会スローガンとして開催された。

東北ブロック大会は、全日本トラック協会が推進する人材育成事業の一環として東北6県持ち回りで毎年実施されている。同大会では、東北六県トラック協会連合会青年部会長並びに来賓出席の秋田運輸支局長、秋田県トラック協会長、全日本トラック協会常務理事、全日本トラック協会青年部会長がそれぞれあいさつした。続いて研修会として、(株)ルネサンス 望月 美佐緒 氏を講師に迎え、「健康経営～脳の活性化と生産性向上～」と題した基調講演及び「シナプロジ（脳活性化の方法）」を実践した。大会最後には、次ブロック大会開催県の愛知県に大会旗が伝達され成功裡に大会は終了した。

陸 災 防 安全衛生レベルアップ支援事業研修会を開催

陸災防福島県支部は、9月25日(木)、トラック協会福島研修センターにおいて、労働災害防止に積極的に取り組もうとする県内各分会より推薦された7事業場を対象として「安全衛生レベルアップ支援事業」の第1回研修会に福島労働局近藤産業安全専門官を来賓に迎え開催した。開会冒頭、荒川常任委員より『死傷災害はなかなかなくならない。この機会を利用して頂き、安全管理体制を整え、一件でも労働災害を減らして欲しい。』との激励の挨拶がされた。次に、近藤産業安全専門官より「陸上貨物運送事業は、死傷災害が全産業平均に比べ発生率が4倍と多い。是非、具体的対策をとり、労災事故を減らして欲しい。また、荷役災害、交通労働災害ガイドラインに基づき安全対策を徹底し、陸運業における5大災害の防止に努め、まずは、チェックリストにより、自分の会社のレベルを把握すること。また、この研修会に参加し、レベルアップすることは大事ですが、是非、次に繋がるような研修にして頂き、災害ゼロを目指して欲しい。」と挨拶があった。



【来賓挨拶：
福島労働局 近藤安全専門官】

今後、陸災防指導員と各事業場の管理者が集合研修と個別指導により、安全衛生管理の進め方、管理規程の整備、安全衛生計画の作成等、安全衛生水準向上に向け取り組んでいく。

陸 災 防

『交通労働災害防止担当管理者教育講習』の開催について



皆さまの事業場では、交通労働災害防止担当管理者を選任していますか！

陸上貨物運送事業における死亡災害の50%は交通事故です。

.....『交通労働災害防止担当管理者教育講習』の開催について(ご案内).....

厚生労働省は、「交通労働災害防止のためのガイドライン」(平成20年4月)を策定し、事業者の責務、管理体制等について示し、事業者はそれにより交通労働災害防止に努めなければならないとされました。

具体的には、

1 事業者の責務

労働者に自動車等の運転を行わせる事業者は、ガイドラインを指針とし、事業場における交通労働災害防止対策の積極的な推進を図ることにより、交通労働災害防止に努める。

2 交通労働災害防止のため管理体制の構築

事業者は、交通労働災害防止のため、次の事項を実施しなければなりません。
交通労働災害防止を担当する管理者の選任、選任された交通労働災害防止を担当する管理者への教育、交通労働災害防止を担当する管理者の職務の明確化、交通労働災害防止を担当する各管理者との連携。

募集期間：10月1日から11月5日まで

1. 日 時 2019年11月12日(火) 13:00~16:50

2. 場 所 福島市 福島県トラック協会 研修センター

3. 対象者 交通労働災害防止担当管理者又は選任予定者で、運行管理者又は補助者、運行管理者基礎講習を受講された方。

4. 講習科目と時間 事業者の責任と交通労働災害防止担当管理者の役割等(1時間)、交通労働災害防止管理の進め方(1.5時間)、教育及び運転者認定制度、健康管理、交通労働災害防止に対する意識の高揚(1時間) **計 3時間30分**

5. 受講料 陸災防福島県支部(福島県トラック協会)会員は、無料と致します。

6. 申 込 受講申込書(ホームページからダウンロード)に所定事項を記入し、運行管理者資格者証または基礎講習修了者証の写しを添付しお申込み下さい。

福島市飯坂町平野字若狭小屋32

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福島県支部

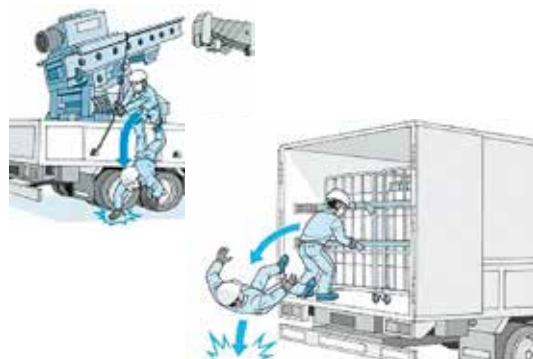
TEL 024-558-9011



陸運事業場の安全衛生ご担当者様へ

「トラック荷台等での荷崩れ等による災害防止講習会」のご案内

陸運業の荷役作業時に発生する労働災害の中で、トラック荷台等からの墜落・転落が多く発生していますが、これに次いで多いのがトラック荷台等での荷崩れによる災害となっています。



この現状を受け、陸災防福島県支部では①積み付け・固縛機器の取扱い、②荷締め機の不備による災害事例及びその対策、③荷役作業ガイドラインの周知、を目的とした研修会を開催することとしました。

当該作業に従事する方はもちろん、管理者の皆さまには積極的なご参加をお待ちしています。

～講習会の主な内容～

1 開催日時 **2019年11月20日(水) 13:00~16:00**(受付:13:00~13:25)

2 開催場所 福島県郡山市喜久田町卸3丁目5
福島県トラック協会 県中研修センター

3 定員 約100名程度(先着順です。)

4 参加費及びテキスト代 **会員無料**

5 申込方法 下記参加申込書に記入し、陸災防福島県支部までファクシミリでお申し込み下さい。(受講票等は送付いたしません。)

FAX **024-559-1161**

6 修了したことを証する書面

本講習会を受講された方には、修了したことを証する書面をお渡しします。

7 問合せ先 陸災防福島県支部 TEL **024-558-9011**

----- 切り取り不要 -----

「トラック荷台等での荷崩れ等による災害防止講習会」参加申込書

(参加者が複数の場合は、申し込み書をコピーしてお使い下さい。)

参加者氏名	ふりがな
事業場名	(業種:)
所在地	〒 -
電話・担当者氏名	TEL () - ご担当者
担当者メールアドレス	
陸災防メールマガジン のご案内	当協会では、陸運業に関する労働災害発生状況、安全対策の取り組み等を掲載した電子版広報誌「陸運と安全衛生」を月に1度発行し無料で配信しております。上記メールアドレスを記入して頂きますと、記入して頂いた方に自動で配信致します。 ご不要の場合は、右の□にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 不要

適正化 2019年度物流セミナーを開催

2019年度物流セミナーは9月27日(金)に郡山市「ホテルハマツ」において開催され、会員事業所、荷主企業など162名が参加した。

本セミナーはトラック運送業界の現状や課題について、荷主企業とのパートナーシップ構築を目的に会員事業所並びに取引のある荷主企業を対象に毎年開催しており、本年度は業界の喫緊の課題である取引環境・労働時間改善及び働き方改革取組みに向けた、「課題共有とこれからの在り方」について理解を深める内容となっている。

はじめに夏坂 佳伸 副会長があいさつし、続いて遠嶋 孝則 福島運輸支局長、上野 諭 福島労働局労働基準部監督課長より祝辞を頂戴した。セミナーは二部制で、第一部で関係行政機関からの講演、第二部は日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役社長 小坂 真弘 氏による基調講演会を実施した。



【セミナーの様子】



【夏坂 佳伸 副会長】



【遠嶋 孝則 福島運輸支局長】

第一部

福島労働局

「働き方改革について」



【福島労働局 上野 諭 労働基準部監督課長】

東日本高速道路(株)

「車両制限令違反に伴う割引制度停止措置等について」



【東日本高速道路(株) 清水 隆博 交通管理課長代理】

第二部

演題 「働き方改革に係る物流の在り方
～新しいパートナーシップの構築」

講師 日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役社長 小坂 真弘 氏

本年4月より施行の「働き方改革関連法」により、2024年度から時間外労働の限度時間設定に伴い、緊急に運転者の労働条件・環境改善及び運送事業者の健全な発展のための「ホワイト物流」推進への取組方法、トラック・バス・タクシー事業者の取組状況を「見える化」するための「ホワイト経営認証制度」の概要説明等、トラック運送事業者、荷主企業が円滑にパートナーシップ構築を図れるよう、斬新な切り口で分かりやすく講話いただいた。



【小坂 真弘 氏】

10月の行事予定

日程	行事内容	開催場所
2日(水)	第24回全国トラック運送事業者大会	千葉市「幕張メッセ」
19日(土)	トラックの森 (海岸防災林植樹)	相馬市磯部大洲地区
26日(土)	2019年度福島県総合防災訓練	いわき市「アクアマリンパーク周辺」他
26日(土)	第51回全国トラックドライバー・コンテスト	ひたちなか市「安全運転中央研修所」
27日(日)		
30日(水)	2019年度過労死等防止・健康起因事故防止セミナー	郡山市「県中研修センター」

協同組合 2019年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物 (求車)・車両 (求荷) の情報登録・成約件数 ※上記表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年同期合計	増減
荷物(求車)登録件数	1,053件	709件	474件	620件	862件								3,718件	3,492件	+ 226件
荷物(求車)成約件数	110件	113件	104件	110件	117件								554件	600件	- 46件
成約率	10.4%	15.9%	21.9%	17.7%	13.6%								14.9%	17.2%	-23ポイント
車両(求荷)登録件数	375件	355件	403件	354件	345件								1,832件	1,644件	+ 188件
車両(求荷)成約件数	266件	223件	234件	210件	221件								1,154件	1,013件	+ 141件
成約率	70.9%	62.8%	58.1%	59.3%	64.1%								63.0%	61.6%	1.4ポイント

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2018年に比べ2019年では発生件数(-13)、死者数(増減なし)、傷者数(-17)となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールへの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況 (8月末)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計	2018年 に比べて の増減数	9月	10月	11月	12月	年間合計
2018年 (概数)	発生件数	5	9	11	5	8	3	8	11	60			7	10	4	8
	死者数												1		1	2
	傷者数	5	11	17	6	10	3	10	18	80		7	15	4	11	117
2019年 (概数)	発生件数	11	3	7	4	4	8	7	3	47	-13					
	死者数										0					
	傷者数	12	4	8	4	4	12	15	4	63	-17					



トラック広報 わだち10月号 (通巻465号)

2019年10月1日発行 (毎月1回1日)
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

